

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行 / (一社)日本衛生材料工業連合会

(一社)日本衛生材料工業連合会・全国衛生材料工業会の綿棒を販売する各社は、使用後の綿棒の無意識な廃棄(ポイ捨てやトイレへ流す行為など)による環境への悪影響をできる限りなくそうとの思いから、消費者の皆様を使用時に働きかけることとして廃棄に関する2つのマークを商品パッケージに表示することといたしました。

■ 2つのマークで、使用後の廃棄に関するお願い

綿棒のある暮らしをもっと素敵に。

そんな思いから、綿棒のパッケージにも新しくマークが追加されました。

●使用後はゴミ箱へ

●トイレに流さないでください

大事なお願いをマークに込めました。



●使用後はゴミ箱へ捨ててください。

使用後はゴミ箱へ



道路や公園にポイ捨てせず、使用後の綿棒は必ずゴミ箱に捨ててください。

●トイレに流さないでください。



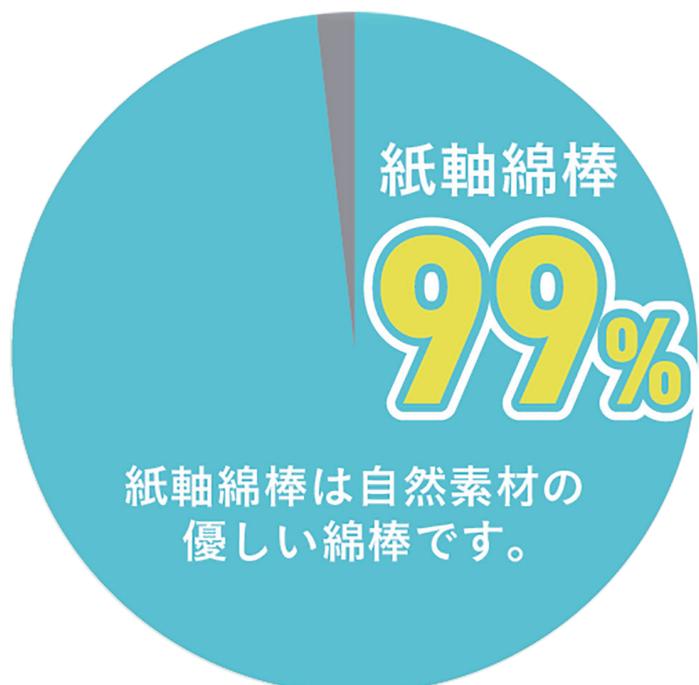
使用後の綿棒をトイレに流さないでください。
排水管でつまると大きな問題につながることも！

■日本の綿棒は環境にやさしい紙軸設計

日本で販売されている綿棒の99%は、自然素材の紙軸綿棒です。(下図)

この紙軸は文字通り紙でできています。
人体と環境に優しい自然素材で出来
ています。

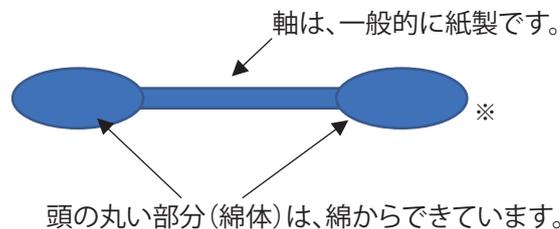
でも、使用後はポイッと捨てずにごみ
箱に捨ててください。



■日本の綿棒の構造※

(※一般的な家庭用綿棒)

綿棒は、軸と頭の部分の丸い部分(綿体)で構成されます。



(※片側だけでもあります)

■軸の素材は紙ですが、トイレに流すとつまりの原因になります。

トイレに流してしまうと、綿棒が排水管に引っかかり、つまりの原因となります。結果として、排水管を詰まらせてしまいます。



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。